

●1分で見える世界景気／2019年8月末から見た2019年9月動向

※世界景気は米中貿易戦争激化、景気減速でまさに一進一退。金融緩和策も限られた中、日本は消費税を乗り切れるか？

欧
州

英国/EU離脱に不透明感

EU

・4-6月GDP年率+0.2%
(+1.8%)で減速

●ドイツ連銀

・7-9月のGDPが2四半期
連続のマイナス成長の可能性
ありと警告

・輸出、生産が低迷

欧州中銀

・19年中の利上げ断念
・金融緩和維持&マイナス金利副作用軽
減を検討

中国

米中貿易摩擦長期化

経済減速鮮明

●7月 ※()内は6月
・PMI49.7 ・雇用指数47.1
・工業生産+4.8% (+6.3%)
・小売売上高+7.6% (+9.8%)
・固定資産投資+5.7% (+5.8%)

●景気失速は許さない
姿勢を鮮明に

VS

トランプ政権

米国

・対中貿易交渉長期化、10月再開か？

地政学& **米中貿易戦争**

・8月雇用増加+13万人 (7月+16.4万人)

・8月失業率3.7% (7月3.7%)

・8月自動車販売+10.9% (前年同月比)

FRB/8月利下げ (0.25%)

10年半ぶり

日本

中国景気減速

・8月月例経済報告/景気は、輸出を中心に弱さが続いているもの、**緩やかに回復している。**

・10月消費税で一部駆け込みも見られるが、車や住宅は平静さも

●日銀 2%物価目標達成時期まで金融緩和継続
※2019年度物価見通し+0.9%

- ①フォワードガイダンスの導入
- ②短期金利 (-0.1%)、長期金利を0%へ誘導
- ③長期金利変動幅は従来の±0.1%から±0.2%を念頭に
- ③長期国債、ETF、J-REITの買い入れは柔軟に

新興国 政策金利引き下げ広がる

- メキシコ中銀 政策金利引き下げ (0.25%)
- 台湾2019年成長率+2.46%に上ぶれ予想
- ロシア4-6月GDP前期比+0.9%で二期連続で1%下回る
- アルゼンチン通貨安続く ●インド7月新車販売台数 前年同月比30%減 ●タイ1-6月新車販売台数7%増

緩和ペース